

2. 下水道BCPにおける災害対応のシナリオ

初動行動計画（勤務時間外の場合）



概ね
3日

⑩緊急措置

管路施設・ポンプ場

処理場

【トイレ機能】

- 仮設トイレ・トイレ用水の確保、し尿収集車の配備⇒防災部局を中心として対応
- し尿受け入れ及び処理の確保

【汚水の流下機能】

- 溢水した又は、溢水のおそれがある場合⇒下水を汚泥吸引車により汲み上げ
- 停電への対応⇒自家発電設備を起動する

【雨水の流下機能】

- 大雨が予想される場合⇒浸水の可能性を周知

【※交通障害の発生防止による応急対策活動の確保】

- 人孔突出部の切断後、碎石にて埋戻し⇒道路部局を中心として対応

【処理機能】

- 消毒施設からの塩素ガスが漏洩した場合⇒呼吸用保護具を着用し、元弁を閉鎖
- 特定事業者からの有害物質が排水されている場合⇒使用制限の要請
- 一次・二次処理機能が停止した場合⇒消毒処理で対応
- 停電への対応⇒自家発電設備を起動する

⑪支援要請

- 災害時支援ルール^(※)に基づき、地方公共団体等に下水道技術職員の派遣及び資材の調達を要請する。

^(※) 下水道事業における災害時支援に関するルール／（社）日本下水道協会、
下水道災害時における大都市間の連絡・連携体制に関するルール／大都市下水道会議

- 派遣職員及び資材の受け入れ場所の確保

機能回復のための行動計画

概ね
30日

⑫広報活動（随時）

- 被害の概要と復旧の見通しについてとりまとめ、記者発表、住民への周知を行う。

⑬一次調査方針の立案

- 緊急点検・調査に基づき一次調査の優先度の検討（地盤の液状化が予想される地域、軟弱地盤地域から優先的に行うことが考えられる）。
- 調査区域割の検討、人員の配置計画、調査日程等の検討。
- 調査を実施する上で必要な下水道台帳の収集とマンホール鍵の確認。

⑭一次調査の実施

- 全体的な被害状況を取りまとめる。

⑮応急復旧方針の立案

- 一次調査に基づき、応急復旧工法、目標復旧時間の検討、必要な資機材（資材、人員）の検討、体制の検討を行う。

⑯応急復旧の実施（例）

管路施設・ポンプ場

【汚水の流下機能】可搬式ポンプによる下水の排除、仮水路、仮管路等の設置 等

処理場

【処理機能】仮設沈殿池の設置、・仮設塩素注入設備の設置、・移動脱水車の配備 等